

【桃山学院中学校高等学校ミッション・ステートメント】

桃山学院中学校高等学校は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、生徒ひとりひとりを大切に、個々の生徒が持つ多様な可能性を開花させ、健全な社会の実現に貢献できる若者を育成することを使命とする。

中長期的目標に対する評価 <点数評価> 1. 評価しない 2. あまり評価しない 3. 改善の余地あり 4. 評価する 5. 大いに評価する

分類	評価項目	点数 評価	評価・提言
教育活動 長期目標	建学の精神を日常に	4.5	コロナ禍の中、平素より建学の精神を、日常には、むずかしかったと思いますが、全体的ながんばりがみえ高評価です。材料となるそれぞれのアンケート又自己評価からよみとり、高評価である。 アンケートによる評価が高いと思います。 昔からの自主・自立の精神が引き継がれていて良いと思う。 生徒に対するアンケートでも学校生活において「自由と愛の精神」を満喫している様子が伺える。
	大学合格実績の向上	3.7	自分の学力を伸ばしてほしいと思っている子が多く、一人一人に指導がいきとどいていないと思う子が少数いるので、やはりどの子も、希望の大学に入りたいと思っているので、その満足度を得るためには、学校・子ども・家庭の強い思い等を共有し、一人一人を大切にがんばってほしいと願います。 コロナ禍の影響が大きいかもしれません。桃大への進学率が低いのでは？ 新しいコースに期待するとともに、下位層へのフォローも期待しています。 世間の価値観が変化しているので、進学以外の選択にも注目することも大切。 国公立の合格者数が増加していることは評価するが、京大、阪大至上主義にならないことを望む。
	いのちの教育のさらなる推進	4.0	是非、こちらにも、絶える事なく力を注いで頂きたいです。 対内的な啓発活動は、充実してきていると思うので、対外的啓発活動に注力していただきたい。

教育活動 中期目標	キリスト教精神	4.2	キリスト教精神がどのくらい浸透するかも大切だがキリスト教の精神こそが今の時代に大切なことを多く含んでいるので更なる深みを目指してほしい。 伝統が堅持されていると思います。 きれいなチャペルが出来て、本当に恵まれていると思う。 在校生の聖公会の教会訪問を、各学年で1回、異なる教会を訪問するように推進してもらいたい。
	学習指導	3.8	YouTube等をみる時間が多いのかどうか？はっきり読み取れないですが、全体的に睡眠不足の子が多く、眠いと学習にも害もあるし、そのあたりのご指導もご家庭との連携を取り、工夫が必要かとも思いました。 授業の満足度が高いのは素晴らしいと思う。落ちこぼれのないように気配りをお願いいたします。 アクティブラーニングやプロジェクトスタディなど最新のトレンドにも挑戦してもらいたい。
	生活指導	3.8	登下校時にシルバーボランティアの人々が生徒を見守っている。お行儀が良い。 登下校時の歩道の歩き方のさらなるマナーの向上を求めたい。
	自治活動	3.5	コロナ禍の中、それぞれの立場で出来ることを模索しがんばっていると思う。 大変熱心さを感じています。 コロナ禍で活動が中止されたり、変更があり調整が難しかったと思う。 新型コロナウイルスの影響で学校行事が、中止、縮小されたことで自治会活動の沈滞が心配される。
	進路指導	3.7	個々の思いを大切に、それぞれの主体性を重んじ本人が思う道筋を助ける工夫をしてほしい。 生徒側の能動さが必要な事かもしれませんが、全体に平等に行き渡ってる感が充分に感じられません。 進路の違いが多岐にわたり、指導が難しかったと思うが、一人一人に寄り添って指導願いたい。 大学進学だけでなく、就職につながる進路指導も必要かと思われる。
	中高一貫教育	3.8	中学校で不登校のようなものが見受けられるが、高校があるのが強みで、甘えもある所もあるかもしれないですが、良い面悪い面それぞれを見出し教育の向上に励んでほしい。 よく耳にするのが、“高校進学後の伸び悩み”です。中→高への移行の落差（学習面や生活面において）が、保護者には違和感を感じられている旨、毎年少なからず聞かれます。 恵まれた家庭の生徒が多いと思うので、親の希望と本人の希望の格差も大きいと思う。頑張ってください。 高校入試のハードルが無い分、気の緩みが起こらない指導の強化を望みます。

教育活動 中期目標	入試広報	4.0	頑張られていると感じます。 I T時代なので良いことも悪いこともすぐにネットに出る。広報活動は大変だと思う。 大阪北部（北摂、高槻）、尼崎、西宮地域に加え、和歌山市、橋本市への広報拡大を期待する。
	いのちの教育	4.2	貴校にきて良い友達を得たという意見も多くみられ、人を大切に、ジェンダーの平等性も学びながら、いのちの教育においても高評価であると考えられる。 家出や自殺について考えたことも無いという恵まれた生徒が多い中、7パーセントの生徒が思ったことがあるというのは、多いのか？少ないのか？ 聖公会関連の特別養護老人ホームへの訪問、ボランティア活動を検討していただきたい。
	その他 施設・キャンパスの整備	4.3	入学を希望した動機としても、併願校であったというのも意見の中に多いが、教育施設が整っているというのも人気の1つである。 行き届いていると感じます。 いつ訪れてもきれいに整備されている。とても恵まれていることに感謝します。 カンタベリー館で保育園事業を検討していると聞いているが、是非推進していただきたい。

その他 学校運営に関するもの <点数評価> 1. 評価しない 2. あまり評価しない 3. 改善の余地あり 4. 評価する 5. 大いに評価する

学校運営	情報公開	4.3	少し角度は違いますが、桃高の服装は自由で気に入ってはいても“桃高生がわからない”とアンケートに答えた子が多いのは、桃高生としてのプライドをもって、桃高生にみてもらいたい気持ちもあるのだろうと、良い意味でとらえました。 インターネットに色々情報があがっているので、時代に合っていると思う。 ホームページを通じて学校評価のバックナンバーや財務状況も確認でき、透明性はかなり高い。
	危機管理	4.2	将来構想を見据えた、議題の元、励まれていると感じます。 コロナ禍で今までにない危機が増えたので、コロナと共生できる対策・管理が必要だと思う。 アンデレ館の地下が避難施設としてテレビニュースで紹介されたことの有効活用を求めたい。
	地域交流	3.3	コロナ感染が治まったのことでですね。 コロナ禍ゆえ制限があり、致し方なしと感じます。 コロナ禍で学内中心となって、地域との交流は難しかったのではないかと思います。 高大連携で、地域住民を対象にしたイベントを企画してほしい。

学校運営	社会貢献	3.5	コロナがすぎて、平穏な日々がもどりましたら期待したいです。 大学の新学部開設や、新大学設立が、それにあたると感じます。 金銭的な社会貢献はできたかもしれないが、人的貢献はコロナ禍で難しかったのではないかなと思う。 SBSの活動は高く評価するが、これに続く活動を望む。
学校評価	学校評価のためのアンケート	4.0	綿密に行われていると思います。 評価の収集への熱意は良きと感じます。ただ中身がどれだけの正確な意見を吸い上げられているかは少し疑問ではあります。 アンケートを数値化して具体的にわかりやすく、比べ安いの良いと思う。 学校生活、授業の満足度が3年生を除き、1, 2年生の数値が前年度より低下している。
	学校評価の活用	3.8	形式的にするのではなく、アンケートからみる細々な信号をみのがす事なく、学校教育運営に少しは役立てていただけたら良いなあ、と思います。 対応されていると感じます。 保護者目線と地域目線、学校目線は異なるので、うまく活用してほしい。 前年度より数値を下けている項目は、次年度へむけての改善を求める。